

会 議 記 録

会議名称		「区立保育園の運営を民間事業者に引き継ぐためのガイドライン」改定検討懇談会 第4回	
日時		令和元年12月18日（水）18時30分から20時15分まで	
場所		西棟8階 第9会議室A・B	
出席者	委員名	駒沢女子短期大学 名誉教授	: 福川 須美
		千葉明德短期大学 保育創造学科 講師	: 大村 あかね
		杉並区立杉並保育園 保護者	: 加藤 友美
		杉並区立杉並保育園 保護者	: 宮崎 貴雅
		杉並区立井荻保育園 保護者	: 佐原 聡一郎
		杉並区立井荻保育園 保護者	: 三瓶 智沙登
		杉並区立中瀬保育園 保護者	: 長津 明
		杉並区立中瀬保育園 保護者	: 藤原 千春
	事務局職員	子ども家庭部長	: 徳嵩 淳一
		子ども家庭部保育課長	: 武井 浩司
		子ども家庭部保育施設支援担当係長	: 樋口 拓哉
		子ども家庭部 保育課 管理係長	: 青木 博巳
		子ども家庭部 保育課 事業計画調整係長	: 有吉 俊輔
		子ども家庭部 保育課 保育支援係長	: 奥田 恵子
		子ども家庭部 保育課 事業計画調整係	: 庄子 隆史
		子ども家庭部 保育課 事業計画調整係	: 松本 光哉
		子ども家庭部 保育課 事業計画調整係	: 五十嵐 由香莉
		子ども家庭部 保育課 事業計画調整係	: 飯室 佑花
傍聴	8名		
配布資料	当	次第	
	日	資料 1 【未定稿】第3回懇談会でのガイドライン（素案）に対する主な意見 資料 2 「区立保育園の運営を民間事業者に引き継ぐためのガイドライン」（改定素案）の修正部分について 資料 3 「区立保育園の運営を民間事業者に引き継ぐためのガイドライン」（修正案） 資料 4 検討部会及び改定検討懇談会の進め方（案）	
会議次第	1 第3回改定検討懇談会の振り返りについて 2 ガイドライン修正案について 3 その他		

1 第3回改定検討懇談会の振り返りについて

事務局が、資料1に基づき、第3回懇談会でのガイドライン（改定素案）に対する各委員の主な意見を説明した。

2 ガイドライン修正案について

事務局が、資料2及び資料3に基づき、ガイドライン（修正案）について説明した後、以下のとおり各委員から意見を聴取した。

【主な意見】

1 ガイドラインの目的等、2 民営化に当たっての基本姿勢（P1）

○目的や基本姿勢の部分には、主役である子どもの視点に立った表現（子どもの最善の利益など）を入れるべき。

3 基本的なスケジュール、4 運営事業者の公募・選定（P2～8）

○（特になし）

5 運営事業者への引継ぎ（P9～11）

○冒頭に、区が責任を持って引継ぎや民営化後の区の支援等を行うことを宣言するような決意表明や具体的に何をするかの記事があると、より安心である。

○冒頭の記事内容は十分である。文体を区の決意表明となるよう修正するとより良い。

(1)引継ぎ方法の概要、(2)保護者へのお知らせ・意見交換（P9～11）

○（特になし）

(3)本庁保育課による移行までの進行管理（P11）

○「進行管理等のイメージ」図の中央にある「子ども」については、このままでは意味が伝わらない。子どものイラストでもよいのではないか。子どもへの関わり方を記載できるとよい。

6 民営化後の区の支援等（P12～13）

(1)本庁保育課による巡回訪問・指導検査等（P12）

○例えば、保育士が一斉離職した場合等の危機的状況には、区が別の預け先を確保する等、子どもの保育の継続を担保することの記載があるとより安心である、との意見があるが、そのような稀なケースのことをガイドラインに記載すべきかは、慎重に検討する必要がある。

(2)保護者の声を活かした園運営の改善（P12）

○保護者アンケートについては、保護者の負担軽減のため、ウェブアンケートを採り入れるとよい。

○今後、アンケートを実施する際にはアンケート項目や質問内容、回答の選択肢（5つ程度）を十分検討して、今後の改善・見直しにより、より良い園運営につながるよう工夫してもらいたい。

【巻末資料】1 民営化の必要性（P14）

○区立保育園に対する国や東京都の補助金等が廃止された経緯等を記載することは、民営化に対する理解が深まるのではないかと。

○「参考2 民営化による運営費比較」は、棒グラフにした方が分かりやすい。

その他

○保護者アンケートについては、民営化の前後に実施することで、民営化前と後の相対的な比較ができるのではないかと。

3 連絡事項等

事務局が資料4に基づき、第4回改定検討懇談会以降のガイドライン改定に係るスケジュールを説明した。

最後に、各委員から第1回～第4回改定検討懇談会を振り返り、以下のとおり感想をいただいた。

【主な感想】

- この懇談会では、保護者の皆さんも本当に熱心に発言等をいただいたことに感謝している。区は、子どもたちの保育のために一生懸命考えて、質の高い保育を維持したいという思いで懇談会を開いたのだと思う。このような区の姿勢を是非続けていただきたい。
- ガイドラインは、当初案から見違えるようなもの、格段に理解し易いものになった。区が、このように手間に係るプロセスを踏んでいくという姿勢はとても大事なことだと思う。
- 今回のこの懇談会を通じて、事務局の皆さんが熱心に委員の意見を聴き、ガイドラインを修正してくださり、熱い話をたくさん聞かせてくださったことで、杉並区に住んで良かったと感じたというのが、今の素直な気持ちである。
- 私も杉並区に住んで良かったなと思っている。子どもは、毎日とても生き生きとしており、変化の中で苦労しながら成長していく姿もとても大切であると思っている。区は、子どもたちのことをしっかりと考えてくれていると感じる。区がこうした姿勢であれば、今後の民営化を任せて安心かなと感じている。
- 保護者の中には、やはり民営化に関して不安を感じている人が多くいるが、私の周りでは、区も真剣に取り組んでくれていることが理解されてきている。今回ガイドラインを作成するに当たって、子どもが一番重要であると思っていたため、そういった目線で議論できたことで、非常に有意義な懇談会であったと感じている。
- 旧ガイドラインには漠然とした不安を感じていたが、修正案はとてもきめ細かくなったし、初見の方でも、ある程度民営化までのイメージがしやすいのではないかなと思う。作業量も多い中で、手を加えてくださってありがたい。
- 当初は、どんな懇談会になるのか不安と期待と入り混じっていたが、1年間かなり前向きで建設的な意見が多く出て良かったし、区の努力する姿勢も強く感じた。保護者とのやり取りの中でガイドラインの改定に向けた作業が進められ、素晴らしかった。また、懇談会の皆さんと様々な視点で多くの意見交換をすることができて、個人的にも視野が広がってとても勉強になった。
- 選定委員会の保護者委員として関わった当初は、区に対して必要なことを物申す保護者がいないといけないくらいの気持ちだった。しかし、お話を伺っていく中で、思っていた自治体の態度とは違い、子どものことを十分に考えてくれていることを感じた。そして、今回この懇談会に参加して、区が保護者や外部の委員の方々の意見を取り入れ、反映しようとする意識を強く感じた。毎回の懇談会を通して、とても良いガイドラインになったと思う。

今後のスケジュール

- 第5回検討部会(予定) : 令和2年1月14日(火) 14時～職員会館201会議室